

昭和三十三年十月一日

日本原子力産業会議  
事務局長 橋本清之助



湯川 秀 樹 殿

拝啓 益々御清祥の段大慶に存じ上げます。

このたびはジュネーブにおける才二回原子力平和利用国際会議に日本代表として御出席せられ、無事大任を果して御帰国せられましたことは誠に御同慶の至りと存じます。

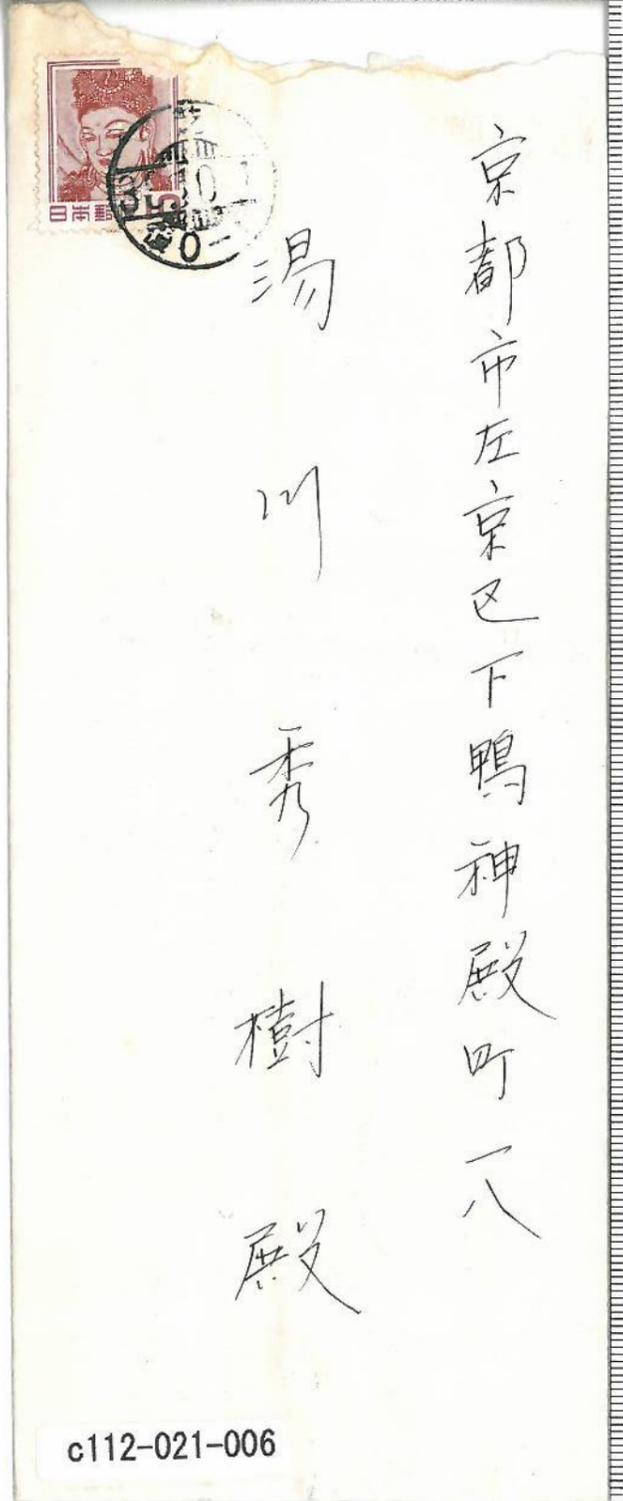
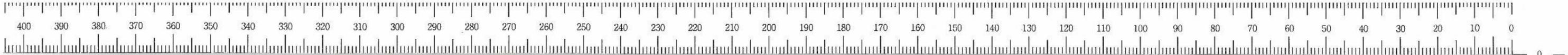
さて御帰国早々にて公務御多忙と拝察いたしますが、先に御依頼申し上げました通り、日本学術会議並びに当日本原子力産業会議の共同主催により左の如くジュネーブ会議出席者の方々による講演会を開催いたすにつきましては恐縮乍ら東京及び大阪において御高話を

賜わりたく、重ねてお願い申し上げます。  
なお講演会の次才、時間割等の詳細に関しましては一応の案を作成いたし、後刻御連絡の上御指示を得たいと存じますので何卒よろしくお願い致します。  
敬 具

記

一十月二十二日 東京 日本工業倶楽部  
三十月二十四日 大阪 大阪商工会議所

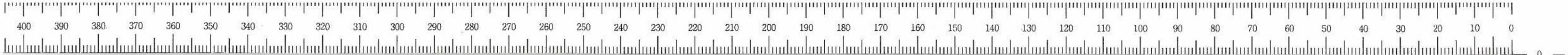




湯川秀樹殿  
京都市左京区下鴨神社町八

c112-021-006





昭和卅參年拾月壹日



東京港區芝田村町一丁目一番地 (東電ビル)

社団法人 日本原子力産業會議

電話五九局(59)六一二(番)(代表)

10月22日 東京  
10月24日 大阪

